

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
ケガの手当 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本澤 光則			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
軽症の応急手当についての知識を学びます。											
到達目標											
外傷の発生から治癒に向かう過程のメカニズム理解し治療に当たれることを到達目標とする。また、この授業を元に自学自習の精神や姿勢を身につける事も目標とする。											
授業方法											
解剖学を主として、骨の名称や関節、筋肉の起始・停止などを理解し、患者さんへ説明に用いることができる学問である。骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷等と解剖学の結びつきを理解し、発生機序から後療法までの基礎知識を習得する。											
成績評価方法											
試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や医療現場にふさわしくない受講態度、振る舞いなどには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時間数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受講することができない。											
教科書教材											
教科書（柔道整復理論編 一般社団法人全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。											
回数	授業計画										
第 1 回	整復固定のコツと解剖学①										
第 2 回	整復固定のコツと解剖学②										
第 3 回	整復固定のコツと解剖学③										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
柔道整復科	
ケガの手当 2	
第 4 回	固定のと管理指導①
第 5 回	固定の管理指導②
第 6 回	肘関節外傷の症例を発生機転を元に残存機能を理解する①
第 7 回	肘関節外傷の症例を発生機転を元に残存機能を理解する②
第 8 回	肘関節外傷の症例を発生機転を元に残存機能を理解する③
第 9 回	手関節外傷の症例を発生機転を元に残存機能を理解する①
第 1 0 回	手関節外傷の症例を発生機転を元に残存機能を理解する②
第 1 1 回	後療法とは①
第 1 2 回	後療法とは②
第 1 3 回	後療法とは③
第 1 4 回	後療法とリハビリテーション
第 1 5 回	後療法と主義療法のマッサージ